

第2回須坂市国民健康保険運営協議会議事録（要旨）

1 開催日時

2024年1月31日（水）

午後1時30分 開会

午後3時15分 閉会

2 会議の場所

須坂市役所 東庁舎2階 第三委員会室

3 出席委員

大 峽 郁 子	竹 本 清 子	松 岡 慎 也	師 岡 京 子
五 明 広 樹	高 野 恭 平	松 下 英 知	樋 口 義 宏
古 川 洋	永 井 康 彦	若 槻 吉 章	堀 野 学 嗣

4 欠席委員

岡 村 將 次 松 澤 正 浩

5 事務局出席職員

牧健康福祉部長・関野医療保険課長・高橋健康づくり課長・長田課長補佐兼保健予防係長・津山課長補佐兼健康支援係長・仁科課長補佐兼保健予防担当係長・赤沼健康支援係担当係長・西村健康支援係保健師・宮崎国保年金係長・尾島国保年金係主任主事

6 傍聴者

0名

7 配布資料

- （1）須坂市国民健康保険 第3期保健事業実施計画（データヘルス計画）素案
- （2）次第
- （3）委員名簿
- （4）須坂市国民健康保険運営協議会規則
- （5）第3回運営協議会の開催通知

8 会長あいさつ 永井 康彦 委員

本日はお忙しい中、第2回須坂市国民健康保険運営協議会にご出席をいただき、ありがとうございます。会の開催にあたり、一言ご挨拶をさせていただきます。国民健康保険運営協議会は、国民健康保険法により設置が定められているところであり、市長の諮問機関として、国民健康保険の運営について必要な意見交換や調査、審議をしていただく大切な協議会であります。

本日の運営協議会の協議事項は、保健事業実施計画（データヘルス計画）について協議を

願いするものでございます。

保健事業実施計画（データヘルス計画）は、被保険者の健康の保持増進を図り、保健事業の積極的な推進を図るために策定するものです。

委員の皆様におかれましては、それぞれのお立場からご意見やご質問を頂戴し、計画に反映させてまいりますので、忌憚のないご意見をいただきたいと考えております。よろしくお願いいたします。

9 会議録署名委員の指名

被保険者代表 松岡 慎也 委員、保険医・保険薬剤師代表 松下 英知 委員 を指名

10 協議状況

（１）第３期保健事業実施計画（データヘルス計画）について

事務局から説明（高橋健康づくり課長・赤沼健康支援係担当）

《主な意見と回答》

委員：健康寿命を長くすることは医師会も同じ目標で、須坂市の成績は素晴らしく、寝たきりの期間が短いのは市職員の努力の成果だと感じている。しかしながらこの現状からさらに改善をするということは大変困難な課題と感じる。医師会として関与できるところとすると、第２期計画で達成できなかった項目のⅡ度高血圧以上や糖尿病のHbA1cの課題については協力できるのではと感じている。これらの点を改善することにより医療費を下げることに繋がってくる目標は妥当と思っている。PDCAサイクルのチェックの部分で、Ⅱ度高血圧以上とHbA1c8.0%以上について、過去の健診受診者の中の割合を見ると、様々に変動しているため、現在設定している数値目標は、変動理由や改善しない理由の原因の評価をしているのであれば医師会として協力できることがあるのではないかと思います。

アウトカム評価の目標値について、県基準で作成していると説明があったが、該当者数が限定される中で妥当なのかと少し疑問に思う。保健指導した場合と未実施の場合で、成績の差がでていると思うが、目標値を県に合わせなくとも、他に具体的に評価できるものがあった方が須坂市としてよいのではないかと思います。

先ほどの質問に戻るが、健診の受診率の問題や薬の服薬の問題等検討した課題を教えていただければ医師会として協力ができることを考えられるがいかがか。

事務局：目標値について、メタボリックシンドロームの該当者や予備群の割合、特定健康診査の受診率、特定保健指導の実施率について、国の指針があるので参考に設定している。他の項目については、第２期に設定した目標を達成していなければまずそこを目指すようにしていく。アウトカム評価については、内部で検討した結果、今回設定した数値目標が妥当と判断した。

また、高血圧やHbA1cについて改善の有無を確認したところ、治療が必要でも未治療の方、治療を中断している方がそれぞれいるという状況が見えてきたため第

3期ではⅢ度高血圧や重症化リスクが高くなるHbA1c7.0%以上の治療未治療に関わらず強化していけるよう対象者を見直した。

医師会としてご協力いただける部分については、糖尿病性腎症重症化予防プログラムと同様に血圧についても医療連携が必要と考えているので、体制づくりや協力いただけるようなもっていき方など助言をいただきながら進めていきたいと考えている。

委員：未治療者や治療中断者が一番の原因ではないかとの答えであるが、医師会でも相談させていただきたいと思う。

委員：私たちの組合でもデータヘルス計画について、検討しているところ。参考に、大腸がん検診受診率について、国や県の数値に合わせるための目標としているとのことだが、目標数値の設定について明確な基準（人数ベース等）があるのであれば教えていただきたい。

事務局：須坂市の受診率を国の目標値にすることは難しいため、健康づくり計画との整合性を図り、2022年度の実績と過去の受診率を見ながら設定したため、明確な基準があるわけではありません。

委員：ポピュレーションアプローチという言葉はどういった意味で使用する言葉なのか。データヘルス計画に関する言葉なのか一般的に使用される言葉なのか。

事務局：ポピュレーションアプローチと対比する言葉としてハイリスクアプローチという言葉がある。ハイリスクアプローチとは、健診データが基準値外でリスクが高い方を対象に重症化予防を行うことで、個別で保健指導を行っている。対してポピュレーションアプローチは市民全体を対象とし、ハイリスクアプローチの対象とならないよう予防し、広報や健康教育等により普及啓発を行うこと。ポピュレーションアプローチやハイリスクアプローチという言葉は、データヘルス計画でよく使用しているが、健康分野ではよく使用する。

※事務局より、「特定健康診査の受診率向上の取組について」「高血圧予防の取組、糖尿病予防の取組について」意見を伺った。

（特定健康診査の受診率向上の取組について）

委員：協会けんぽでも未受診者対策等を行っている。例えば、未受診者対策として休日の健診機会を設けて未受診者へ会場の案内等を通知し受診率の底上げを行っている。

委員：自分は以前サラリーマンをしており、現在は農業を行っている。サラリーマンの際は会社より受診を促され、新規就農者になってからは市より受診案内の通知がきている現状。市での健診対象となったタイミングで未受診者となってしまう場合が多いのではないと思う。農業をしていると、先の予定がわからないことが多いため、自分の受けたいときに受けられるような環境があればいいと思う。健診が受けられる病院等を記載した通知を送付することにより自分から受診する人も増えるのではないかと考える。

事務局：いただいたご意見を参考にさらに受診率向上に向けて努力していきたい。

(高血圧予防の取組、糖尿病予防の取組について)

委員：保健補導員を2年間務めていた時は、様々な勉強をさせていただいた。減塩については学んだことを町でお伝えしたりすることで広く知っていただけたと思う。健診については、仕事をしている方の場合、6月から10月と期間が限定されていると仕事が休めずに受診ができない場合があると思う。この期間は決まっているのか。

事務局：6月から10月は医療機関で受診ができるが、11月から1月までは保健センターで集団健診を行っているため、都合が悪い場合は集団健診に変更して受診をお願いしたい。

委員：広報等で周知の際、効果をパーセンテージ等数値として示し、啓発していくことが大切だと思う。

事務局：皆様からのご意見を参考にし、広く市民に広められるよう努力していきたい。広報の際に数値を示すことはとても良いことだと思うので、実施していきたい。

(2) その他(第3回須坂市国民健康保険運営協議会について)

事務局から説明

第3回国民健康保険運営協議会について、2月19日の月曜日、午後1時30分から、保健センターのリハビリルームでの開催となる。協議事項については、事業費納付金関係や次年度の当初予算案等についてとなる。また、先ほどご協議いただいた保健事業実施計画(データヘルス計画)の最終版をお示しできればと思っている。委員の皆様には、お忙しい中ではあるが、ご出席をお願いしたい。

11 健康福祉部長あいさつ 牧健康福祉部長

本日は、長時間にわたるご協議、たくさんのご意見を頂き、感謝申し上げます。いただいたご意見を計画策定、実践をしていく中で、留意していくこと等も含め反映し進めてまいりたい。今後も関係機関の皆様と連携し、被保険者の健康の保持増進、保健事業の積極的な推進を図ってまいりますので、引き続き委員の皆様のご指導をお願いしたい。

2024年1月31日

会 長 永 井 康 彦

署名委員 松 岡 慎 也

署名委員 松 下 英 知